

## レジが変わった

市川茂子

住宅街の路地を出てまもなく、信号を渡ると大通りに出る。その一角にスーパーマーケットがあるので、一人暮らしには便利なスーパーだ。

衣類・日用雑貨の買い足しや地下一階にある食料品売場には、その都度出かけて、買い忘れをすると二度、三度と足を運ぶ時もある。さして買うものがなくても、散歩のつもりで食品売場を回っていると、思いがけない人に出会ったり、近所の人と立ち話ができるなど、心なごむ一時になる。

このところ十台ほどある食品売場のレジに行列ができて、日によっては陳列棚の前までつづく混雑になる。急いで行った時は、カゴに入れたものを元に戻して帰ることもあった。

昔からの古い住宅街も、新築されたり、ワンルームマンションや大型マンション、ビルなどができて、様相が変わった。近郊にはいくつか高校もある。

スーパーの前から五十メートルくらい先に地下鉄駅の出口があるので、地下鉄で通う人々の往来が多くなった。仕事帰りにはスーパーで買い物をしてから自宅に向かっていくようで、スーパーの

袋を提げている人をよく見かける。

先日突然にいつものレジが変わって、お支払いセルフレジが設置されていた。品物を合計したカゴをお支払いレジに移されて、ボタンを押すと画面に支払い方法が出る。自分で選択してお金を入れなければならない。何ともやっかいなことになってしまった。

前もってお知らせの表示があったと思うが、気が付かなかった。レジの画面を見ながら戸惑っていると、後ろに立っている係りの人がすぐに寄ってきて説明しながら教えてくれる。若い人たちなどは、さっさと支払いを済ませて通り過ぎてゆく。

支払いの度に後ろで見られていると、何だか万引きを監視されているような気分だ。支払いの度に介添えをしてもらうようでは、もはや買い物難民になりそうだと考えが脳裏をよぎる。

何事も人まかせにして、文明の利器などの使い方を覚えようとしなかった怠け者には、住みにくい世の中になってきたかと思ってしまう。

それでもスーパーが頼りなので、少々の買い物でも行かなければならない。気が進まないまま、ふとレジの上を見ると、手前の一つに「通常レジ」と書かれた札が下がっている。そこにも並ぶ人がいて、少しばかり待ち時間があつたが、難なく支払うことができた。

お客の多いスーパーなので、状況を見ながら、会計がスムーズになるように対策を考えているようなので、ほっとした。